

# 病院の 実力

～埼玉編 172

## 胃がん

今回は、胃がんを取り上げる。一覧表には2021年の手術と内視鏡治療の実施件数を掲載した。

19年に胃がんが診断された患者は約12万4000人で、大腸がん、肺がんに次いで3番目に多い。

治療は、手術、内視鏡治療、抗がん剤など薬物療法が中心だ。がんの進行度や、ほかの臓器への転移の有無などを踏

# ロボ支援 高い安全性

まえて選ぶ。

胃の内側の最も浅い部分である粘膜層にとどまるケースは、口から器具を入れて行う

内視鏡治療の対象だ。

今回の調査では、代表的な4種類の手術数を聞いた。切除範囲の大きい順に「全摘」

「幽門側胃切除」「幽門保存

胃切除」「噴門側胃切除」となり、がんの位置や広がりなどで決める。

最も多いのは、胃の出口である「幽門」側の3分の2程度を切除し、入り口となる「噴門」を残す「幽門側胃切除」だ。胃の一部を残すことで、全摘と比べ、術後の食生活への影響を減らすなどの利点がある。

鏡「ロボット支援」がある。主流は、腹腔鏡手術だ。開腹と比べ、傷口が小さく、体への負担が少ない。器具を操作するには、高度な技術が必要だ。

従来は、腹腔鏡より、安全性が高いことが確認できたとして、診療報酬(公定価格)が引き上げられた。さらなる普及が見込まれる。

病院の実力「胃がん」  
医療機関別2021年治療実績  
(読売新聞調べ)

医療機関名	総数 (件)	手術		内視鏡治療 (件)
		うち腹腔鏡 (件)	うちロボット 支援手術(件)	
<b>埼玉</b>				
埼玉医大国際医療セ	184	130	0	215
さいたま赤十字	92	58	30	132
埼玉医大総合医療セ	90	38	22	102
独協医大埼玉医療セ	83	15	67	105
済生会川口総合	52	49	0	68
防衛医大	52	42	0	80
上尾中央総合	52	24	15	88
自治医大さいたま医療セ	43	15	0	161
深谷赤十字	43	8	0	60
埼玉石心会	42	23	0	56
草加市立	35	22	0	34
春日部市立医療セ	31	13	0	14
川口市立医療セ	30	30	0	101
<b>TMGあさか医療セ</b>	<b>30</b>	<b>23</b>	<b>0</b>	<b>42</b>
さいたま市立	30	12	6	61
越谷市立	29	8	0	24
さいたま市民医療セ	28	16	0	32
埼玉協同	25	13	0	37
熊谷総合	22	8	0	—
東大宮メディカルセ	21	16	0	38
<b>戸田中央総合</b>	<b>16</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>37</b>
<b>新座志木中央総合</b>	<b>11</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>20</b>
埼玉医大	10	1	0	53
<b>群馬</b>				
県立がんセ	55	8	24	32
伊勢崎市民	51	9	33	51
済生会前橋	41	29	0	21
太田記念	39	9	0	58
公立藤岡総合	31	5	0	5
桐生厚生総合	27	14	0	1
JCHO群馬中央	25	12	0	53
公立富岡総合	24	0	0	5
館林厚生	17	5	0	35
<b>千葉</b>				
国立がん研究セ東	224	105	81	262
県がんセ	121	76	21	219
国保旭中央	94	15	21	110
亀田総合	71	28	0	160
船橋市立医療セ	70	26	9	50
国保君津中央	69	12	0	86
順天堂大浦安	62	61	1	142
千葉労災	52	22	0	75
新東京	50	19	26	73
柏厚生総合	49	28	17	110
千葉大	47	15	6	172
成田赤十字	42	11	0	73
東京歯科大市川総合	41	23	0	45
千葉西総合	40	31	8	60
聖隷佐倉市民	36	9	0	14
千葉徳洲会	30	26	0	18
東邦大佐倉	28	25	0	51
千葉市立海浜	22	12	0	34
松戸市立総合医療セ	20	10	0	18
キッコーマン総合	19	4	0	3
おおたかの森	18	2	0	25
慈恵医大柏	14	12	0	50
セコメディック	11	7	0	31
さんむ医療セ	7	2	0	5
辻仲柏の葉	0	0	0	11

「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明

全国の調査結果は21日の「安心的设计面」に掲載しました。